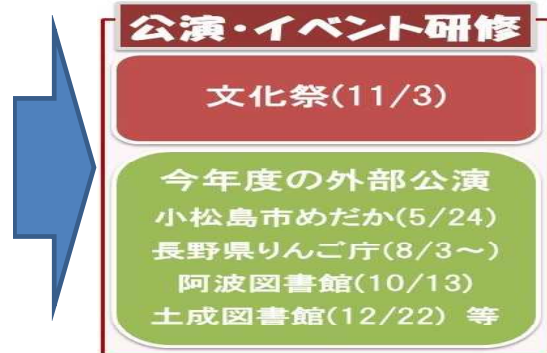


令和6年度とくしま生徒まんなか探究活動推進事業成果発表

活動タイトル:「徳島の文化を掘り起こせ！」郷土文化探究プロジェクト

人形劇団とくしま中央一座の取組

◆本校で発足15年目を迎えた「人形劇団とくしま中央一座」において、学校や社会で深刻化する不登校やメンタル面の課題に対し、演じる生徒や観客の心を癒すオリジナル人形劇を制作。「ゆっくり、まったり、のんびり」と1日を過ごすナマケモノの生きる姿を描いた。図書館や福祉施設で発表し、観劇者の共感を得た。また、人形遣いやイベントの運営に関するスキルアップ研修を実施し、そのマネジメント力を磨いた。



2年次「絵本の世界」探究授業の取組

◆阿波に纏わる絵本や徳島で活躍する絵本作家の作品を取り上げ、「絵本の世界」探究授業を2年次において「現代の国語」科目で実施。
⇒ **読み手:読み聞かせグループかぶとむしに依頼**

- 第1回 くすのきしげのり作『泥かぶら』
- 第2回 あまんきみこ作『鉢かづき』
- 第3回 ときわひろみ作『父のかお母のかお』

【生徒の感想】○心が荒々しく生活がすさんでいた主人公が、心を清く保ち正しく生きて自身の生き方を変えられたのが素敵だと思った。(第1回感想)○鉢かづきのポジティブな生き方が自分の運を開き、幸福な未来につながったんだと思った。(第2回感想)○終戦後、貧しいながらも子ども二人で逞しく生き、復員兵にまで優しく接する姉弟の健気な姿に感動した。同時に戦争は深い悲しみを生むのだと。(第3回感想)

阿波徳島にちなんだ郷土文化探究の取組

〔探究内容〕国語科「文化探究」科目において、生徒が各々にテーマを決め、調査・研究したことをリーフレットまたは創作絵本として作品作りを行った。 ⇒ **講師:鍛冶貴裕氏(イラストレーター)に依頼**

《主な生徒の創作作品10選》

	タイトル	テーマ	工夫したところ	感想等
生徒A	四国88ヶ所の今	魅力発信と近年の状況	見やすさとビジュアル性	レイアウトが難しかった
生徒B	阿波で咲き誇る花たち	阿波で咲く花々を観よう	色遣いや写真の配置	作る過程が楽しかった
生徒C	狸の徳島の食を知る旅	狸による徳島の食巡り	子供の読み易さを考えた	徳島の特産品に詳しくなれた
生徒D	徳島のイカあるある	徳島近海にいるイカの研究	イラストに工夫を凝らした	イカの種類の多さに驚いた
生徒E	祖谷のおばけ屋敷	徳島のミステリー観光	黒一色の濃淡で味が出た	イメージの再現に苦労した
生徒F	徳島の観光スポット	阿波観光の有名どころ	イラストをふんだんに使用	K講師の助言で楽しく描けた
生徒G	徳島の民話「狸合戦」	狸合戦の舞台を調査する	現地に足を運び調べた	「百聞は一見に如かず」だった
生徒H	徳島に引っ越す	私が徳島に来た時の印象	キャラクターをウサギにした	楽しみながらイメージを形にした
生徒I	徳島のお土産	徳島でしか手に入らない名物	美味しそうに見えるように	説明文を描くのが大変だった
生徒J	徳島の絶滅した生物	徳島の絶滅危惧生物	イラストや文章のまとめ方	意外と楽しく上手くまとめられた

※枠内の黒字は創作リーフレット作品、赤字は創作絵本作品

発表者:徳島中央高等学校定時制課程昼間部生徒一同